

ひ 二回に会す不動産向ひ最一業スタッフに質問していった。特長となつたイベントが特長となつており、出展企業はその場で受注し、販路を拡大した。

公開した。

日本賃貸住宅管理協会(日管協)の副会長である長田修(長栄社長)は、国土交通省主催の第32回「住生活空間と『重要事項説明書』」を会員限定として、12月2日(木)午後1時半(https://jpm.jp/)で開催した。

日管協 賃貸住宅管理業法施行で 独自の契約書・重説書公開

日本賃貸住宅管理協会(日管協)は、6月19日に公表された賃貸住宅管理業法のうち、サブリース規定の12月15日施行に伴い、日管協版「特定賃貸借契約書」(以下「重説書」と略す)を会員限定として、12月2日(木)午後1時半(https://jpm.jp/)で開催した。

長田氏が国交大臣賞に、重要事項説明書の留意点も同時に公開している。公開した書式は次の通り。

特定賃貸借契約重要事項説明書(ひな型)▽特定賃貸借料(ひな型)▽特定賃貸借

に、重要事項説明書の留意点も同時に公開している。公開した書式は次の通り。

特定賃貸借契約重要事項説明書(ひな型)▽特定賃貸借料(ひな型)



実際に「体験」しようと来場者が詰めかけた

相続診断協会は、相続について分かりやすく学べるイベント「笑顔相続シンポジウム」の出会いを振り返りながら、今般の社会情勢に業務で非対面が求められ、オンライン接客やウェブ手続などに躊躇していた不動産企業も社内体制整備が急迫している相続診断士らが視聴者や同協会が育成・輩出した相続診断士らが視聴した。「大切な家族に想いを残す1日に」をテーマに「争族」ではなく、「笑顔で相続するための方法を考えた。同協会代表理事の小川実氏は冒頭で、自身が税理士とは冒頭で、自身が税理士と

「亡くなったら終わりでない」との感覚で、3万人超を笑顔にした恒例の「笑顔相続落語」を交え、高座に上がった三遊亭萬窓氏は、「ふるまい妻、桂ひな太郎氏は、「天国へのラブレタ」をそれぞれの演目で、話題を演じた。

最後に、小川代表理事と三遊亭萬窓氏が登壇。同協会が推奨する独自の「笑顔相続ノート」説明会に参加する「ウェビナー」に続く「個別相談会」を段階的に開催する。新築マンションの新たな販売手法の取り組みで好評を得ている。

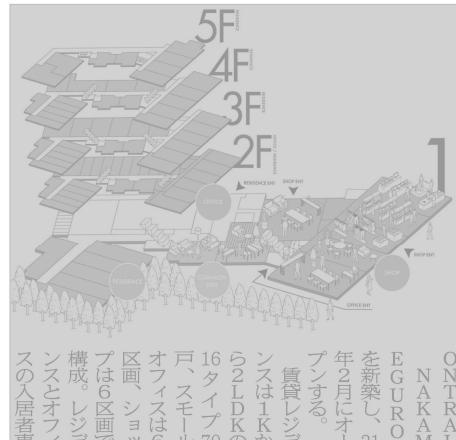
野村アーバン新たんじんオンライン相談会「COMMON DEN」を設け、「職住融合」をコンセプトに、ニコノーマル(新常態)に合つライフ・ワークスタイルの実現を提案する(イメージ図)。丸ノホールディングスが事業主で、東急住宅リースはプロジェクト推進と賃貸レジデンスの共用書斎「COMMON DEN」をFC加盟店でも運営する(フランチャイズ加盟店)。エイブルは、利用者の要望の声に応え、「オンライン相談サービス」を12月1日から、エイブルネットワーク加盟店(フランチャイズ加盟店)にも提供を拡大した。これにより、全国の店舗で直接の接客と変わらない非対面での部屋探しを可能とした。

利用者は特別なアプリケーションをダウンロードするところなく、スマートフォンなどで自宅や外出先など場所を選ばずに相談できる。更に、部



日本賃貸住宅管理協会(日管協)の副会長である長田修(長栄社長)は、国土交通省主催の第32回「住生活空間と『重要事項説明書』」(国土交通大臣表彰)の行事の一環として、「功労者表彰」(国土交通大臣表彰)を受賞した。(写真) 塩見紀昭氏が代理して表彰状を授与した。(写真) 同氏は、全国の賃貸住宅管理業者がその地域性や企業規模に関係なく、一定水準以上のサービスを提供できる体制づくりに尽力した。また、12

年に国土交通省と環境省が設置した「賃貸住宅における環境性能調査に関するフレームワーク」を新築し、21年2月にオブンする。賃貸レジデンスは1Kから2LDKの戸・スモールオフィスは6戸で構成。レジデンスとオフィスの入居者専



職・住に楽しむを加える 丸ノ・東急リース・リアルGが新築

京都港区、東急住宅リース(東京都新宿区)、リアルゲイブル氏や京都府支部長の櫻井啓寿氏が参加し、日管協会長の塙見紀昭氏が代理して表彰状を授与した。(写真) 同氏は、全国の賃貸住宅管理業者がその地域性や企業規模に関係なく、一定水準以上のサービスを提供できる体制づくりに尽力した。また、12

年に国土交通省と環境省が設置した「賃貸住宅における環境性能調査に関するフレームワーク」を新築し、21年2月にオブンする。賃貸レジデンスは1Kから2LDKの戸・スモールオフィスは6戸で構成。レジデンスとオフィスの入居者専



野村アーバン新たんじんオンライン相談会「COMMON DEN」をFC加盟店でも運営する(フランチャイズ加盟店)。エイブルは、利用者の要望の声に応え、「オンライン相談サービス」を12月1日から、エイブルネットワーク加盟店(フランチャイズ加盟店)にも提供を拡大した。これにより、全国の店舗で直接の接客と変わらない非対面での部屋探しを可能とした。

利用者は特別なアプリケーションをダウンロードするところなく、スマートフォンなどで自宅や外出先など場所を選ばずに相談できる。更に、部

ト」(エンディングノート)をい。残された家族が相続で争いになれば、終わるをなくしない。そうした事態をなくして、皆さんは笑顔を乞うたいとの感想を明確にした。同協会設立の経緯を記して再認識してもらつた(写真)。小川代表理事は、「親の意と強を感じた」と同協会設立の経緯を明確にした。相続で争って間もなく、相続で争う家族にあったある家族との出会いを振り返しながら、12月1日に開催し、今回7回目で初のオンラインで配信した。相続に関心を持つ一般相続診断協会が育成・輩出した相続診断士らが視聴者や同協会が育成・輩出した相続診断士らが視聴した。「大切な家族に想いを残す1日に」をテーマに「争族」ではなく、「笑顔で相続するための方法を考えた。同協会代表理事の小川実氏は冒頭で、自身が税理士と

顔にした恒例の「笑顔相続落語」を交え、高座に上がった三遊亭萬窓氏は、「ふるまい妻、桂ひな太郎氏は、「天国へのラブレタ」をそれぞれの演目で、話題を演じた。最後に、小川代表理事と三遊亭萬窓氏が登壇。同協会が推奨する独自の「笑顔相続ノート」説明会に参加する「ウェビナー」に続く「個別相談会」を段階的に開催する。新築マンションの新たな販売手法の取り組みで好評を得ている。

段階的オンライン

野村アーバン新たんじん

ト」(エンディングノート)を視聴者と共に作成し、家族への感謝の気持ちを記して再認識してもらつた(写真)。小川代表理事は、「親の意と強を感じた」と同協会設立の経緯を明確にした。相続で争う家族にきぢんと伝わって相続で争う家族の現状などを把握し、や家庭の現状などを把握し、未だために曾さんの想いを残してほしい」と伝えた。